Also published as:

JP4001946 (B2)

#### METHOD FOR DISPLAYING STILL IMAGE

Publication number: JP9163275 (A) Publication date: 1997-06-20

Inventor(s): SATO MITSURU; SANO KOICHI; ISHIBASHI NORIO +

Applicant(s): SONY CORP +

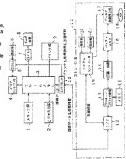
Classification:

- international: H04N5/76; H04N5/76; (IPC1-7): H04N5/76

- European: Application number: JP19950337710 19951204 Priority number(s): JP19950337710 19951204

## Abstract of JP 9163275 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To quickly recognize the whole displayed image by reading image data with low resolution at first so as to display it and reading image data with high resolution so as to rewrite the image under display. SOLUTION: In an optical disk 18, image data of an actual image mode, image data of a standard(SD) mode and image data for indexing which are generated from one image data are recorded. Image data of the SD mode has smaller data quantity than the actual image and compressed to be 1/16. Image data of the SD mode is read from the optical disk 18 by a disk recording and reproducing part 17, reproduced and displayed in a monitor device 8. While the image is being displayed, image data of the actual image mode is read and reproduced and the displayed image is rewritten by one horizontal line at a time and changed-over into image data of the actural image mode.



Data supplied from the espacenet database - Worldwide

1 of 1 1/20/2010 2:34 PM

## (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

## (11)特許出願公開番号

# 特開平9-163275

(43)公開日 平成9年(1997)6月20日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>		藏州記号	庁内整理番号	FΙ		技術。	表示箇所
H 0 4 N	5/76			H04N	5/76	В	

## 審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全 7 頁)

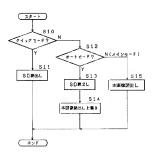
(21)出順番号	特顧平7-337710	(71) 出鞭人	000002185	
			ソニー株式会社	
(22) お顧日	平成7年(1995)12月4日		東京都品川区北品川6 丁目7番35号	
		(72) 発明者	佐藤 充	
			東京都品川区北品川6 丁目7番35号	ソニ
			一株式会社内	
		(72)発明者	佐野 浩一	
			東京都品川区北品川 6 丁目 7 番35号	ソニ
			一株式会社内	
		(72)発明者	石橋 規身	
			東京都品川区北品川6 丁目7番35号	ソニ
			一株式会社内	
		(74)代理人	弁理士 脇 篤夫 (外1名)	

## (54) 【発明の名称】 静止画像表示方法

## (57)【要約】

【課題】高解像度の画像を違和感なく表示できるように する。

【解決手段】オートモードに設定すると、ステップS1 のにてNと判別されてステップS12に分岐し、ここで Yと判別される。そして、ステップS13にでSDモー ドの画像データが読み出されてモニタに表示される。こ のSD画像が手以そ表示される、次いで、ステップS1 4にて本画像の画像データが読み出されて上書きされる ことにより、モニタの表示画像が高解像度の本画像とさ れる。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 1枚の画像から形成された複数の異なる解像度の静止画像データが記録された記録媒体を備え、

該記録媒体から前記静止画像データを読み出して表示す る場合に、最初に解保度の低い前記録と面像データを読 み出して表示に、該表示中に前記記録媒体から高解像度 の静止画像データを読み出して、該高解像度の静止画像 により表示中の画像を書き替えていくようにしたことを 特徴とする静に加像表示方法。

【請求項2】 前記請求項1 記載の静止曲條表示方法 を実行する第1のモードと、前記記録媒体に記録された 確準解像取り静止画像デークを読み出して表示する第2 のモードと、最も高解像度の静止画像デークを読み出し て表示する第3のモードとを備え、第1のモードないし 第3のモードのいずれかの表示モードを選択できること を特徴とする静止画像表示方法。

## 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、1枚の画像から形成された複数の異なる解像度の静止画像データが記録された記録媒体から、迅速に静止画像を表示する静止画像表示する静止画像表示方法に関する。

#### [0002]

【従来の水準】従来、外部から供給される静止画像データを光ディスク等の記録解件は記録再生する記録再生装置が知られている。この記録再生装置には、一般に静止画像データとして高解像族の画像データをリアを見られており、この高解像疾の画像データをリアといる。この場合、高格像疾の静止画像データを飲かりに間間が発現したいと間間解像変の静止画像データを大かした場間が表現したインデックス用の静止画像データを作成し、この場合は同じない。

て、これらの解像度の異なる静止画像データも記録媒体 に記録するようにしている。

【0003】そして、このような解像膜の楔之を静止腫 領データが記録されている記録媒体から静止画像データ を読み出して表示させる場合は、まず、インデックス画 能とされる最も低解像膜の静止画像データを複数校読み 出して表示し、所望の静止画像データを複数校読み として、選択された静止画像の中間解像膜の画像データ を読み出して表示装置に表示するようにしている。ここ 中間解像膜の画像データを読み出して表示するの は、高解像膜の静止画像データはデータ最が大きく、そ の説出しに時間がかかり表示表達医に表示されるまでに助 間がかかるためである。特に、記録媒体がギスクと された場合は、アクセスに要する時間が長くなる。

#### [0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、高解像度の静止画像データを表示したい場合には、高解像度の

静止画館データを読み出して表示するまでに時間がかか り、画像全体の確認を迅速に行えないという問題ががあ った、そこで、本不学別は高解度の評計画館データを表 示する場合に、表示される画館の全体の確認を迅速に行 えるようにした静止画像表示方法を提供することを目的 としている。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため に、木売別の静止画像表示方法は、1 状の画像から形成 された複数の財金る解像販の計画像ボークが記録され た記録媒体を備え、該記録媒体から前記静止画像デーク を読み出して表示する場合に、最初に解像販の低い前記 録性血画像データを読み出して表示し、該表示に一定前記記 録媒体から高解像販の静止画像データを読み出して、該 高解像販の静止画像により表示中の画像を書き替えてい くようにしためである。

【0006】また、上記詩止画像表示方法を実行する第 1のモードと、前記記録媒体に記録された標準解像度の 静止画像データを読み出して表示する第2のモードと、 最も高解像度の静止画像データを読み出して表示する第 3のモードとを備え、第1のモードないし第3のモード のいずなかの表示モードを選択できるようにしたもので ある。

【〇〇〇7】このような本拠別の静止面像表示方法によ 材は、高解像度の静止面像データを表示する場合に、最 初に素早く読み出して表示することのできる解像度の静 止面像データを絡み出して表示するようにし、この表示 画像を次に読み出された高解像院の静止面像データで書 着きていくようにしたので、静止面像の全体を洗速に 表示することができる。したがって、アクセスしてから 画像条件を表示するまでの時間を短くすることができ、 その確謀を追駆で行えるようになる。

#### [00008]

【発明の実施の形態】 本寿明の耐止面像表示方法が適用 された光子 ィスク記録再生装置のプロック図を図1に示 す。この図に示す光ディスク記録再生装置は、フィルム や写真等から画像の読み取りを行うスキャナ部1と、ビ デオテーブレコーダ、ビデオカメラ、スチルカメラ等か らの画像デーク取取り込みを行うビデオ入力部2と、ス キャナ部1あるいはビデオ人力部2から取り込まれた両 像データの記録再生を行うストレージ部11とを備えて いる。

【0009】上記スキャナ部1およびビデオ入力部2から取り込まれた画版データは、フレームメモリ3に恰納され、フレームメモリ3に恰当され、フレームメモリ3から読み出された画像データをデリントするアリンタ部9とがディスク記録再生英書に設けられている。なお、モニク装置8には、画像データがディジクルノアナログ変陰器7でアナログ信号と繋拾されて生み装置をに始めるため

いる。また、光ディスク記録再生装置には、フレームメ セリ3への画像データの書き込みおよび読み出しを制御 するメモリコントローラ4と、光ディスク記録再生装置 の全体の動作をコントロールする中央処理装置(CP U)5と、スキャナ部1による画像データの取り込み指 示や、プリンタ部9のプリント指示等を行うキーの備え られた場件組合とが備えるれている。

【0010】さらに、ストレージ部11はフレームメモ リ3から読み出された画像データが供給されるインター フェース (I/F) 12と、画像データを圧縮符号化処 理に適した所定画素のブロックに分割するラスター/ブ ロック変換回路13と、記録時にブロック化された画像 データに圧縮符号化処理およびエントロピー符号化処理 を施す圧縮処理を行うと共に、再生時に圧縮された画像 データに伸張復号化処理および逆エントロピー復号化処 理を施す伸張処理を行う圧縮・伸張回路14と、ラスタ 一/ブロック変換時に一時記憶バッファとして使用され るメモリ15と、記録時に圧縮・伸張回路14からの画 像データが一時記憶されると共に、再生時にディスク記 録再生部17から読み出された画像データが一時記憶さ れるバッファメモリ16と、光ディスク18へ画像デー タを記録すると共に、光ディスク18に記録された画像 データを読み出すディスク記録再生部17とから構成さ れている。

【0011】なお、ストレージ部11には、ストレージ 部11の全体の動作をコントロールするシステムコント ローラ19と、画像データの記録や再生等が指示を行う モーを備える提作部20と、画像データの情報等を示す 表示部21とが備えられている。

【0012】次に、このように構成された利止面像記録 再生装置の動作を説明する。まず、所望の画像を光ディ スク13に記録する場合を説明すると、ユーザは操作部 6を操作して面像データの取り込み先をスキャナ部1か ビデオ人力部2かを指定する。そして、取り込んだ面像 データの出力先をストレージ部11と指定する。これに より、CPU5がスキャナ部1あるいはビデオ人力部2 の指定されたいずれかを動作数に制御する、

【0013】スキャナ部1は反射振精、造場振精の両方の画像が読み取り可能となっており、反射振精としては ヒサイズ、上サイズ、A6サイズの写真の読み取りが可能とされ、透慮原格としては35mm、プローニサイズ のネガフィルへの読み取りが可能とされている。そして、これらの原稿のいずれかが原稿読み取り合に装着されると、この原稿をC0Dセンサが読み取って画像データが形成を力に出力される。

【0014】また、ビデオ入力部2は、ビデオテーアレコーダ等からのコンボジット信号、頻度(Y)/クロマ(C)セバレートのフォーマットとされたビデオ信号、RGBの原色信号でフォーマットされたビデオ信号の3つのフォーマットのビデオ信号の入力が可能とされてい

る。そして、入力されたビデオ信号は内蔵されたビデオ 処理部によりRGBのフォーマットのビデオ信号に統一 され、さらにディジタルの両筋データに変換されて出力 される。なお、スキャナ部1あるいはビデオ入力部2に より形成された画像データなは、何えばヤギ方向が153 6 ピクセル、乗車方向が1024 ピクセルとされた高解 像皮の両像データであり、この両像データがフレームメ モリ3に保給された両後すれる。

【0015】このフレームスモリ3への画像データの書き込みはメモリコントローラ4の制御の影で行われる。 そして、フレームメモリ3から前か出きで行われる。 そして、フレームメモリ3から前か出きれた画像データは、D/A変換器でによりテナログの画像信号に交換されてモニタ装置をは表示される。ここで、ユーザはストレージ部11には200万年にフェストレージのよりはフレームメモリ3に記憶されている。すなわち、システムコントローラ19はフレームメモリ3に記憶されているの書かとでいるの書からであり、インターフェース12を制即する。これにより、インターフェース12を制即する。これにより、インターフェース12を制即する。これにより、インターフェース12を制即する。これにより、インターフェース12を制即する。これにより、インターフェース12を分にてストレージ部11に取り込まれた画像データは、ラスターでは、カラされ、スチリ15を一時記憶パッファとして使用することにより符号化処理に適したプロック単位に分割される。

【0016】プロック化された画像データに圧縮・伸張 回路14年入力されてJPEG方式の圧縮処理が行われ る。この場合、圧縮処理は10円、電散コサイン変換) 手段と、量子化手段、および可変長符号化手段により行 われる。DCT手段は画像データに一種のフーリエ突換 を輸して、DCで、低高は現めた。低層は現りた高層減現 の各周波数成分に分解する。一般に、画像データはDC 下後には周規収現に集中する性質を有する。そこで、D でしてきれた画像データを低場項から高層域現に向かっ て量子化ステップを大きくした量子化テーブルを有する 量子化平段により量子化するようにする。これにより筒 修データを圧倒処理することができる。されにより筒 でラケを圧動処理することができる。されにより筒 データを圧動処理することができる。されにより筒 中くに出現磁率の高い値に知い符号を割り当て、出現磁 率の低い値に長い符号を割り当て、出現硫 で、さらに高値データを圧勝する。

【0017】状いで、圧縮処理された画像データはDM 名方式によりバッファメモリ16に書き込まれ、ディス ク記録再生部17のタイミングによりバッファメモリ1 6から読み出されて、ディスク記録再生部17でより光 ディスク18に記録される。この光ディスク18は、ミ ニディスク(MD)としてもよい。なお、MDは光磁気 方式の記録方式とされ、その記憶容量は140MBとさ れている。

【0018】なお、光ディスク18には1枚の画像データから形成された本画像モードの画像データと、標準 (SD)モードの画像データと、インデックス用の画像 データとが記録される、本画像モードには、画像データ を圧縮しないノンコンプレッションモード、画像データ を1/うに圧縮(RGB基準)したファインモード、画 像データを1/16に圧縮したノーマルモードがあり、 画サイズは、例えばPAL方式で768×576ビクセ ルとされている。SDモードの画像データは本画像より データ量が少なく1/16に圧縮されており、VGA規 格(640×480ビクセル)の画サイズとされている。また、4ンデックス用り両像データの声イズは 0×60ビクセルの画像データとされている。なお、本 画像モードのいずれのモードとされるかは、ユーザが様 作部 20を提供することにより設定される。

【0019】この本画像モードの画像データおよびSD モードの画像データは、フレームメモリ3に記憶された 簡像データを間別き処理することにより作成することが できるが、圧縮・伸張回路14の最子化テーブルを変更 することによって圧縮率を変更することができることか ら、これにより本画像モードの画像データおよびSDモードの画像データを作成することができる。このように して作成された本画像モードの画像データおよびSDモードの画像データは、前述したように光ディスク18に 影響される。

【0020】次に、このように3種類の解像度の両像学 再生してモニク装置8に美木する力18から画像データを 再生してモニク装置8に美木する動作について説明す る。ユーザが整件部20を操作して、光ディスク18に 記録されている画像データの表示を指示する。これによ り、システムコントローラ19が、画像データを再生す るようにディスク記録再生部17を制削する。ディスク 記録再生部17により再生された画像データは、DMA 方式によりパンファメモリ16に書き込まれ、圧縮・伸 張回路140タイミングで読み出されて伸張処理され、 さらに、ラスタープフロック変換回路13にでプロック からラスターの形態に突換されてインターフェス12 に入力される。そして、インターフェース12およびイ ンターフェースプロック10を介して、再生された画像 データがフレームメモリ3に乗き込まれる。

【0021】さらに、フレームメモリ3から読み出され、 広画像データは、D/A変観器でにおいてアナログ信号 に突換されてモニタ装置をに表示される。この場合、ユ ーザはフイックモード、オートモード、およびメインモー ドであま示モ・ドを選択するとかできる。クイックモ ードで表示した場合は、5Dモードの画像がモニタ装置 8に業早く表示されるようになる。このSDモードは両 進したように1/16に圧陥されているたか、光ディス ク18から1枚のSDモードの画像データを読み出して、 表示するまでの時間は約1秒とされ、迅速にモニタ装置 8に表示されている画像を切り替えることができる。

【0022】また、オートモードは本発明の静止画像表示方法を具現化したモードであり、オートモードとされると、まず、光ディスク18からSDモードの画像デー

タを読み出してモニタ装置とに業早く表示させ、この5 Dモードの画像が未示されている間に、光ディスク18 から本画像モードの画像データを読み出して再生し、モニタ接面をは表示されている画像を1水デラインづつ書き替えがら本面像チータの画学・アッに切り繋さる。 き替えながら本面後・ドルの画像データに切り繋さる。 き材えがら本面後・ドルの画像・1水平ラインづつ書き を指示するとすぐに画像がモニタ装置を1表示され、本 最級モードの画像データが埋きれしだい、モニタ装置 8の画像が木画像モードの画像に置き扱わっていくだ。 め、ユーザは画像を体の順位を迅速に行うことができ ようになる。また、表示される画像の品質が時間の経過 と共と次第に向しされていくようになり、いかゆるプロ グレッシング機能を有するモードとなる。

【0023】さらに、メインモードでは光ディスク18 から本画像データが読み出されて再生され、モニタ装置 悠に本画像が表示されるモードである。このモードで は、本画像データが大容量とされている場合が多いた め、再生を指示してからモニタ表示8に表示されるまで に時間がかか。例えば、ファインモードでは表示され るまでに約2秒かかり、ノンコンプレッションモードで は約5秒程度かかるようになる。また、ノーマルモード では約1秒程度がある。また、ノーマルモードで は約5秒程度があるようになる。また、ノーマルモードで は約5秒程度がある。

【0024】状に、3種類の解儀地の画像データが記録されている光ディスク18から画像データを再生してモスタ装置8に表示する動作処理のフローチャートを図2に示す。このフローチャートにおいて、ユーザが再生指示を行うと、ステップS10にてクイックモードが指示されていてイエス(Y)と判別されると、ステップS11にてSDモードの画像データが光ディスク18から読み出まれて再生される。再生されたSDモードの画像データはフレームメモリ3に書き並まれて処理は終了する。これにより、モニタ装置8にSDモードの画像が表示されたより、モニタ装置8にSDモードの画像が表示されたより、モニタ装置8にSDモードの画像が表示され

○・ 【0025】また、ステッアS10にてクイックモード ではなくノー(N)と判別されると、ステップS12に が較されオートモードが右示が判別される。ここで、ユ ーザがオートモードを指示していると、イエス(Y)と 判別されて、ステップS13に進む。そして、ステップ S13にてSDモードの画像データが光ディスク18から読み出されて再生され、フレームメモリ3に書き込まれる。これにより、モニタ製圏8にSDモードの画像が 表示される。光いで、ステップS14にて本画像の画像 データが光ディスク18から読み出されて再生され、 まされた本画像の画像データによりフレームメモリ3が とされた本画像の画像データによりフレームメモリ3が 8に本画像の画像が表示されるようになり、表示される 画像の過程分略間の経過と共に次第に向上されていくよ うになる、「アログレッシング機能」。

【0026】さらに、ステップS12にてノー(N)と

利別された場合は、メインモードであり、ステップ S1 5に分岐して本画像の画像データが光ディスク18から 読み出されて用生され、再生された本画像の画像データ がフレームメモリ3に書き込まれて処理は終了する。こ れにより、モニク装置8に本画像の画像が表示されるよ うになる。

[0027] ところで、前記したファインモードは1/ 5日前、ノーマルモードは1/16日間としたが、これ に限られることはぐ気やる日本部をしてもよいもので ある。また、画像データの圧縮処理を1/5間別き回路 や1/16間別き回路により行うようにしてもよい。な も、以上の設理においては記録体を光ディスクとして 設明したが、本発明はこれに限らず、ハードディスク等 の記録媒体を備える記録再生装置にも適用することがで きるものである。

## [0028]

【発明の効果】本発明は以上のように構成されているの で、高解度度の静止画版データを表示する場合には、最 初に壽早く読み出して表示することのできる解像変の静 止画像データを読み出して全体の画像を表示するように し、この表示画像を表示中に読み出された高解像度の静 止画像データで書き替えていくようにしたので、静止画 像の全体を迅速に表示することができる。したがって、 画館の全体を超速に表示することができる。したがって、 高層の金体を通路するまでの時間を短くすることができるようになる。また、表示される画像の曲質が特別の経 過と共に対策に向上されていくプログレッシング機能を 持たせることができる。

## 【図面の簡単な説明】

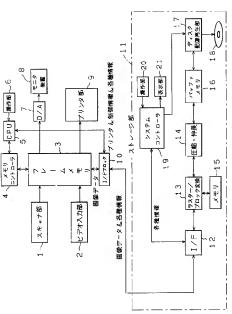
【図1】本発明の静止画像表示方法が適用されている光 ディスク記録再生装置のブロック図である。

【図2】本発明の静止画像表示方法の動作を示すフロー チャートである。

## 【符号の説明】

- 1 スキャナ部
- 2 ビデオ入力部
- 3 フレームメモリ
- 4 メモリコントローラ 5 CPU
- 6 操作部
- 7 D/A変換器
- 8 モニタ装置
- 9 プリンタ部
- 10 インターフェースブロック
- 11 ストレージ部
- 12 インターフェース
- 13 ラスター/ブロック変換回路
- 14 圧縮・伸張回路
- 15 メモリ 16 バッファメモリ
- 17 ディスク記録再生部
- 18 光ディスク 19 システムコントローラ
- 20 操作部
- 21 表示部





【図2】

